

佐鳴台小学校教育目標
「つながる力を育み、
よりよく生きる佐鳴の子」

佐鳴台中学校区目指す子供像
「互いの良さを認め、磨き合う佐鳴の子」

「学校に関するアンケート」結果報告

11月下旬に行った「学校に関するアンケート」に御協力いただき、ありがとうございました。集計結果は以下のようになりました。いただいた評価および自由記述からの御意見を参考に、来年度の教育活動に生かしていきたいと思っております。

【保護者】(4. そう思う 3. だいたいそう思う 2. あまりそう思わない 1. そう思わない 0. 分からない)

4点満点中の平均点を100%として算出

①	お子さんは自分なりにめあてをもち、進んで学習や活動に取り組めると感じている。	79%
②	学校の学習を通して、お子さんは自分の意見や考えを進んで伝えられるようになったと感じている。	78%
③	学校の学習を通して、お子さんは自分の考えを深めるために人の話がしっかりと聞けるようになったと感じている。	77%
④	お子さんは、家庭での学習習慣が定着している。	76%
⑤	お子さんは、進んであいさつができる。	78%
⑥	お子さんは、正しいことや役に立つことに進んで取り組んでいる。	82%
⑦	お子さんは、思いやりをもって相手に接し、友達と仲良くできている。	78%
⑧	お子さんは、友達の良さを認め合い、充実した生活を送っている。	86%
⑨	お子さんは、体力を高めようと自分のめあてをもって取り組んでいる。	78%
⑩	お子さんは、運動の楽しさを味わい、放課後や休日に外遊びや運動に親しんでいる。	78%
⑪	お子さんは、自ら健康管理に努めるとともに、安全意識(交通・防災)も育っている。	80%
⑫	お子さんは、「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身に付いている。	83%
⑬	学校は、担任はじめ養護教諭やスクール・カウンセラー・スクール・ソーシャル・ワーカー等も含めて教育相談を行いやすい体制整備がなされている。	83%
⑭	学校は、子供自身の学びを社会や将来とつなぐキャリア教育を推進するために、積極的に地域人材を募り、活用する授業を実施している。	81%
⑮	保護者として、コミュニティ・スクールの一員となり、積極的にPTA活動に取り組んだり、授業や活動に講師やボランティア、サポーターとして参加したりして、子供たちの活動や学びのために協働している。	71%
⑯	お子さんは、学校教育目標「つながる力を育み、よりよく生きる佐鳴の子」に近づいていると思う。	80%

【児童】

①	自分なりにめあてをもち、進んで学習や活動に取り組んでいる。	83%
②	自分の意見や考えを、学習や活動で進んで伝えている。	78%
③	学習や活動で、人の話をしっかりと聞いている。	87%
④	家で、毎日進んで宿題や学習することができている。	87%
⑤	進んであいさつすることができる。	86%
⑥	正しいことや役に立つことに進んで取り組んでいる。	82%
⑦	思いやりをもって相手と話し、友達と仲良くすることができる。	90%
⑧	友達の良さを感じながら、気持ちのよいじゅうじつした生活を毎日送っている。	88%
⑨	自分の体力を高めようと、運動のめあてをもち取り組んでいる。	84%
⑩	放課後や休日に、外遊びや運動をして楽しんでいる。	81%
⑪	ろう下・階段では、正しい歩き方をするなどして健康・安全な生活を心がけている。また、手洗いをした後、ハンカチで手をふいている。	84%
⑫	家で、毎日「はやね・はやおき・朝ごはん」をすることができている。	81%
⑬	学校は、先生や友達がいて、困ったときには相談することができる。	83%
⑭	地域の人のお話やボランティアの方々に教えてもらうことにより、自分の活動や学習内容が分かるようになったり、できるようになったりした。	84%
⑮	キャリア・パスポートで2学期にがんばった自分をふり返し、1学期と比べて自分が成長したと感じる。	86%
⑯	「勇気、友情、勤労」の心を意識して、学習や活動に取り組んでいる。	84%

全体的に見ると、児童の自己評価がほとんど80%を超え、高いことが分かります。また、昨年度の評価資料と比較すると児童、保護者ともに8つの項目で上がっているという結果になりました。子供たちで高評価だったのは、⑤～⑧「知・徳・体」の「特（心）」の項目です。思いやりの心で友達との関わり合い、楽しい学校生活を送っていることが分かりました。一方、⑨～⑪「体」の項目で、放課後や休みの日に外で活動することや、早寝・早起き・朝ごはんに課題がありました。これは、コロナ禍で外に出られず、室内で過ごすことが増えたのか、あるいは家の中でインターネットやゲームをしていることが多くなったのではないかと予想されます。放課後や休日のこと、睡眠、朝ごはん等いずれも学校外のことなので、御家庭での協力が得られるようになると、改善されると思います。

保護者の結果では、項目⑧「充実した学校生活」が高評価で、楽しく学校に通っているという評価の一方、項目⑦のように子供同士の間人間関係を心配する声が上がりました。今年もコロナ禍で保護者が学校に来る機会が減ったことで、授業の様子やお子さんや周りの友達との様子が分かりにくく、お子さんからの話を聞いて、心配になった方がいるのではないかと考えられます。項目⑮では、70%以上の方々が学校に協力をしようと意識してくださっています。本校は転出入が多く、転入間もない方や翻訳を必要とする外国の方も多いため、様々なボランティアやサポーター活動に協力の声をあげていただいていることに感謝しています。子供たちの学習の習得やふれあいを通して得るものは大きいです。もっと広がると良いと思います。来年度のはじめにボランティアやサポーターの募集をします。無理のない範囲で気軽に応募していただくと嬉しいです。

本年度も昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症対応のために様々な活動や行事が変更さ

れてきました。参観会や運動会は学年別の時間差での開催でした。修学旅行も行き先が東京から県内、山梨方面に変更になりました。多くの制約の中、感染症対策をとりながら活動を続けてきました。そのような中で、「楽学フェスタ」が昨年度の動画配信から実際にお家の方に見えていただけの参観会形式になったことは、子供たちにとって大きな喜びになりました。キャリア教育の集大成として位置づけられた「楽学フェスタ」です。自分で調べたことや学んだことをまとめたり、グループでの協働作業をしたりすることを通して、自分や友達、学び、夢や未来と「つながる力」を伸ばしてきました。当日は、お子さんの頑張る姿を拍手で褒めていただけたのではないのでしょうか。

タブレットを用いた学習は多くの教科、全学年で行われるようになりました。1年生もパスワードを入力して、すぐにタブレット操作をすることができるようになりました。撮ってきた風景や制作した作品をタブレット上で見合うこともできます。自分の考えを「みんなの広場」に投稿して意見交換をする学級もあります。教員からの課題に個人やグループで解きます。将来的には教科書がデジタル化していきます。タブレットが全てではありませんが、有効な活用の方法を探っていきたいと思います。

12月に学校 HP のトップページが浜松市内統一のものとなりました。ブログには、日々の子供の様子が載っています。子供たちが生き生きと活動している姿をぜひ御覧ください。

今後も学校教育活動に御理解・御協力をお願いいたします。

(文責：大石)